

## 役目を終えた nonowa 制服をリメイクしました！

### リメイク商品を「もののわ」にて販売します

駅社員が着用する nonowa 制服は、2021年3月1日に新制服へとリニューアルされました。このたび、その際に着用を終了した旧制服を、廃棄するのではなく、活用できるジャケット、ズボン、シャツなどをリユース・リメイクすることでSDGsの達成に貢献します。



JR 東日本グループの株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン（本社:東京都小金井市/代表取締役社長:高橋好一）は、2021年2月まで使用していた nonowa の旧制服をリユース・リメイクで再活用いたします。

2021年8月10日付ニュースリリース「役目を終えた nonowa 制服が再び活躍します！」にて、旧制服のリユース・リメイクを発表しました。

今回、リメイクとして、nonowa 国立で行っている「もののわ」などにて、旧制服の生地を活用した雑貨等の販売が決定しました。

JR 中央線コミュニティデザインは、SDGs の実現を目指して、事業活動の中で社会課題や地域課題を解決する取り組みを幅広く実施してまいります。

#### ①傘カバー



ズボンを使用

#### ②カゴバッグ



帽子・ネクタイ・リボンを使用

#### ③ボディバッグ



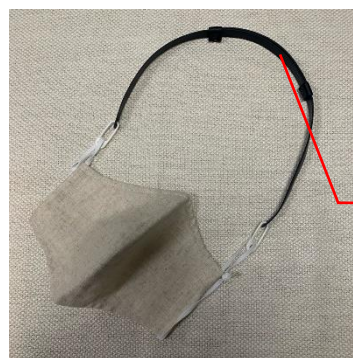
ジャケットを使用し、襟部分をアクセントに

#### ④スリッパ



ジャケットの袖・帽子のツバ・ネクタイを使用

#### ⑤マスクホルダー



帽子のアゴ紐部分を使用

## ■リメイク商品の製作・販売について

旧制服のリメイク商品として、特定非営利活動法人 SOU（所在:東京都立川市錦町/代表理事:友田由香）と連携し、障がい者支援施設の皆さまが、旧制服約 140 枚の生地を使用し、日常で使える雑貨等を製作しました。nonowa 国立で行っている有人改札での商品販売「もののわ」にて、10月16日(土)より、地域の皆さまへ販売します。

nonowa の旧制服には、これまで当社が中央線沿線・地域の皆さまとともに歩んできた歴史や想いが詰まっています。リメイクによって廃棄による環境への影響を抑えるだけでなく、当社の想いを新たに生まれ変わった形として、地域の皆さまにお届けします。

### 【nonowa 国立「もののわ」での販売】

日程：10月16日（土）～10月31日（日） 各日 10:00～17:00

販売商品：

- ① 傘カバー 1,900 円（税込）
- ② カゴバッグ 3,000 円（税込）
- ③ ボディバッグ 8,800 円（税込）
- ④ スリッパ 3,000 円（税込）
- ⑤ マスクホルダー 800 円（税込）

※売り切れ次第販売終了

期間終了後、在庫がある商品については、11月3日（水・祝）、4日（木）に開催する「ものづくりのわ」にて販売いたします。



「もののわ」での販売イメージ

## ■リユースとして南スーダンの方々に

一般社団法人わかちあいプロジェクト（所在:東京都江東区/代表:松木傑）が実施する、発展途上国の人々へ衣類を送る「古着支援プロジェクト」を通じ、南スーダンの方々へ、旧制服のうちまだ着用できるジャケット・ズボン・シャツ約1,600枚を寄付しました（2021年8月10日付ニュースリリース）。現在、旧制服を積んだコンテナはケニアのモンバサ港に到着し、今後南スーダンまで運ばれます。

### 【お問合せ先】

株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン  
業務推進本部 広報

（電話）042-316-4401 （Mail）press@jrccd.co.jp